

寺社めぐり

二十四生 井出 敏

(藤川)

咲きさかる乙女椿に亡き友を不意に思いぬ寺の前庭 (大徳寺)

母逝きて浅き日なればかぐわしき高野の槇を仏の土産に (金剛峯寺)

春浅き宝蔵殿に見てきは百済観音の清きみすがた (法隆寺)

げんげ田を車窓に見つつ大和路に入りて当麻の曼荼羅に会う(当麻寺)

石楠花の奥に毅然とそびえたつ五重塔に心やすらぐ (室生寺)

今になお槇の緑のしたたれる「北條五代」の奥つ城を訪う (早雲寺)

五重塔・大提灯に鳩群れつ「人形焼」を仲見世に買う (浅草寺)

滑稽な表情に会う開榎の煩惱を吐く瞬間という (万福寺)

補陀落の庭の花梨は陽を返えし黄金色して芳香放つ (四天王寺)

人影もまばらな冬の東大寺人馴れし鹿ら群らがりて寄る (東大寺)



平成二十一年に金婚式を迎えられ、
四九年に既刊四冊に加えて五冊目と
なる「金婚」をご夫婦で出版されま
した。

上の写真はそのお祝いに撮られた
ご一族十八人のお写真です。